

皆さまこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

さて迎えた新年、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、地域経済は依然として厳しい状況が続いています。本市といたしましても、感染拡大防止に取り組むとともに、段階的に社会経済活動を再開して市内中小企業の事業継続と雇用の維持、さらには地域経済の回復に向けて事業者の方や経済団体のご意見を伺いながら、適切なタイミングで効果的な支援が行えるよう、全力で取り組んでまいります。

コロナ禍の厳しい状況を乗り越えていくためには、市民の皆さま、事業者の皆さまのご協力が不可欠です。

引き続きお力添えをよろしくお願い申し上げます。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会副会長も務める

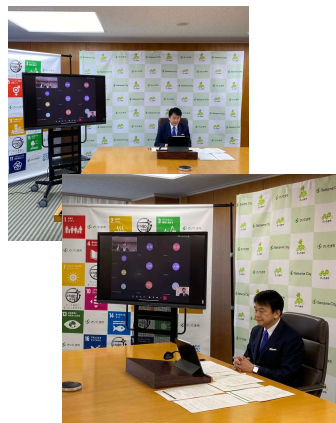
堀内ワクチン担当大臣とオンライン会議を開催

12月28日、堀内詔子ワクチン接種推進担当大臣とさいたま市との間で、接種体制整備についてのオンライン会議を実施しました。

堀内大臣から追加接種、ワクチンの供給について説明を頂いた後に、私や市保健所の職員から本市の初回接種の状況や追加接種の体制整備、前倒しへの対応状況などの課題を説明し、その後、意見交換をいたしました。

堀内大臣におかれては、年末のお忙しい中、さいたま市をはじめとする地方自治体が抱える課題を知っていただく機会を作っていただいたことに感謝いたします。

私からは、堀内大臣のお力で、3回目のワクチン接種に向けたワクチン供給の確保とスケジュールを早急に示して頂くようお願いをしました。



令和4年度予算編成の市長査定が行われる

1月8日から令和4年度の当初予算編成案の市長査定を開始しました。

市長による公開査定は22事業に及びます。これらの予算編成作業を経て、2月1日に開催予定の定例市議会に議案として上程されます。